

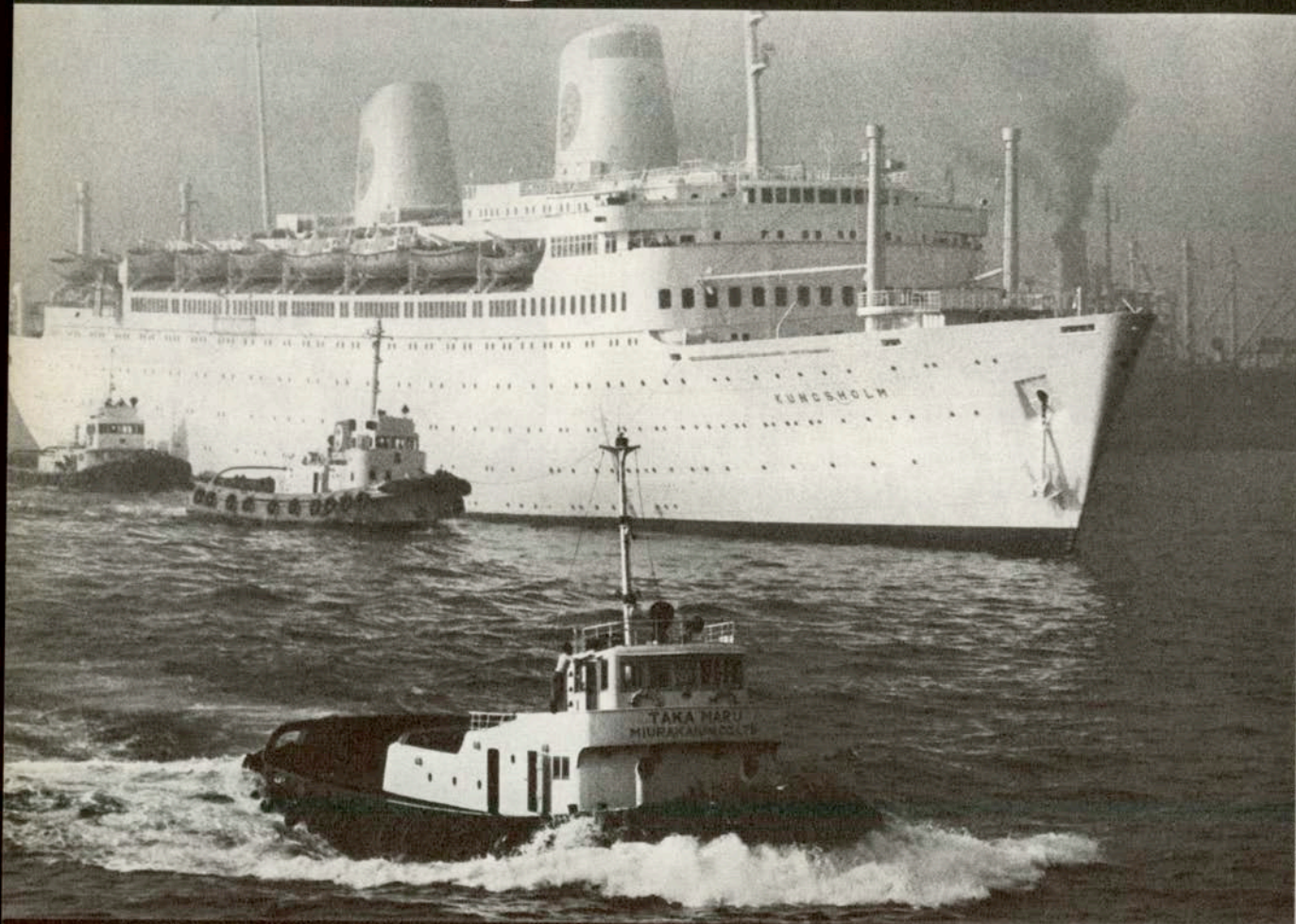
Congratulable Three Sister-Port

Rotterdam+Seattle+Kobe

★神戸開港百年祭特集

みんなのミナト

世界にのびる神戸港



★この特集ページは5月12日<金>～17日<水>A.M.10:00～P.M.6:00にそごう神戸店6階文化催会場で開催される「神戸開港百年祭展」。
<入場無料>主催/神戸市・神戸開港百年祭協会と併わせてご覧ください。

PHOTOS/緒方しげを

港100年

1868(明1)兵庫開港(1月一慶応3年12月)
 1871(明4)初代港長にジョン・マーシャルきまる
 1873(明6)運上所を神戸税関に改称(1月)
 1889(明22)神戸に市制施行(4月)
 1894(明27)
 1899(明32)兵庫運河完成(12月)
 1900(明33)須磨島埋立完成(1月)
 1903(明36)神戸港沖で観覧式(4月)
 1904(明37)
 1907(明40)神戸港第1期修築工事着工(9月)
 1910(明43)
 1914(大3)
 1918(大7)
 1919(大8)神戸港第2期修築工事着工(7月)
 1922(大11)神戸港第1期修築全工事完成(7月)
 1923(大12)
 1927(和2)
 1930(昭5)神戸港の貿易額全国首位
 1931(昭6)
 1933(昭8)兵庫突堤完成(11月)第1回みなとの祭挙行(11月)
 1935(昭10)中突堤完成(3月)
 1936(昭11)
 1937(昭12)
 1938(昭13)
 1939(昭14)神戸港第2期修築全工事完成(5月)
 1941(昭16)第1回海の記念日挙行(7月)
 1943(昭18)神戸税関閉鎖
 1945(昭20)空襲により各地に甚大な被害(3月・6月)
 1946(昭21)神戸税関再開(6月)兵庫突堤基部接収解除(11月)以後順次解除さる
 1947(昭22)
 1948(昭23)民間貿易再開許可さる(8月)
 1950(昭25)港湾法公布施行(5月)
 1951(昭26)神戸市、神戸港の港湾管理者となる(4月)
 1952(昭27)港埠頭完成(3月)第1回国際港湾会議神戸でひらく(10月)神戸移住あっせん所再開(10月)
 1954(昭29)東部海面埋立工事はじまる(3月)
 1955(昭30)外国貿易量戦前を越す
 1956(昭31)第7突堤の完成(5月)
 1957(昭32)西部海面埋立工事はじまる(4月)
 1961(昭36)鶴甲山ベルトコンベヤー運転開始(4月)
 1963(昭38)神戸ポートタワー完成(11月)
 1964(昭39)須磨のベルトコンベヤー、主運船の運転開始(1月)
 1965(昭40)兵庫第三突堤完成(10月)
 1966(昭41)ポートアイランド着工(4月)摩耶大橋完成(5月)
 1967(昭42)摩耶埠頭埋立完成(3月)開港100年祭挙行、シアトル、ロッテルダム港と姉妹港となる(5月)

神戸事件発生

1874(明7)神戸一大阪間鉄道開通
 神戸市の人口13万5千人
 日清戦争はじまる
 日本最初のベスト神戸で発生

鎮山植樹

日露戦争はじまる
 市章山植樹
 神戸電気鉄道KKの市街電車開通
 第1次世界大戦はじまる
 米騒動おこる
 コレタ、天然痘大流行

関東大震災

恐慌おこる。阪神国道開通
 市営バスが営業を開始(9月)
 満洲事変はじまる

2.26事件おこる

日華事変はじまる
 阪神間大水害
 神戸市の人口100万人をこえる
 第2次世界大戦はじまる

終戦

食糧危機激化

第1回市長公選

神戸博ひらく 朝鮮動乱はじまる

講和条約発効

第1回海の女王選定

国民体育大会神戸で開催六甲一帯国立公園となる
 市役所庁舎、花時計完成
 シアトル市と姉妹都市となる
 マルセーヌ市と姉妹都市となる

東京でオリンピック開催

台風により西神戸地区高潮被害
 高速道路1号線開通

六甲トンネル完成
 人口123万人



●明治14年の神戸港

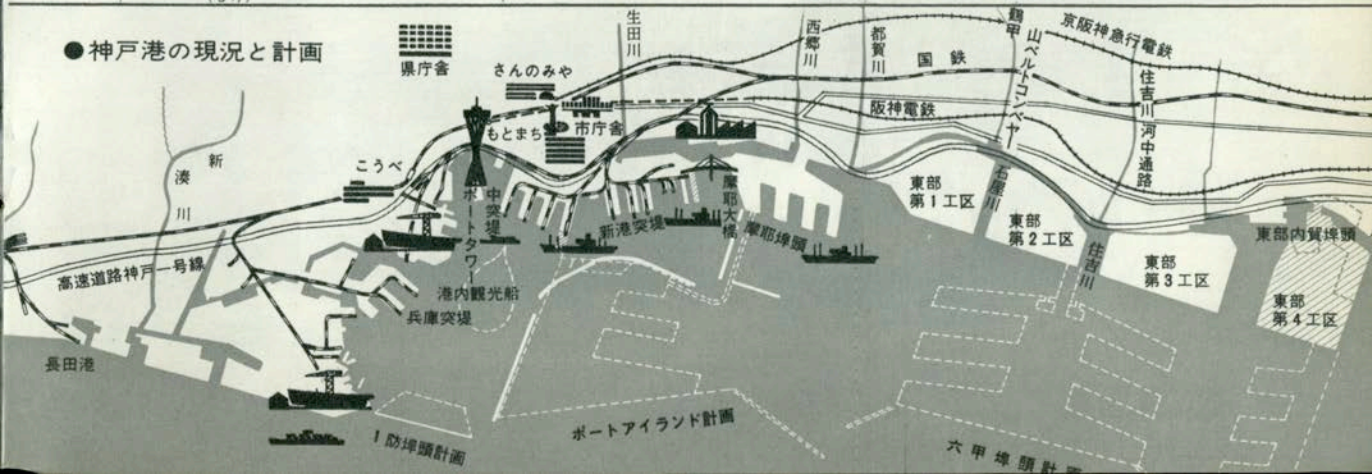


●大正7年の神戸港



●昭和9年の神戸港

●神戸港の現況と計画



パイオニア神戸

★どうして神戸が開港したのか

ペリーの黒船艦隊が泰平の夢を破つたのは一八五三年。そして開国、攘夷両派が国論を二分して騒然としたなか、兵庫開港はきめられた。

慶応三年もおしつまつた十二月七日（太陽暦換算一八六八年一月一日）——神戸沖には旗艦ロドネイ号をはじめ十二隻のイギリス艦隊、ハーフオー

ト号など六隻のアメリカ艦隊が集結していた。朝日が東南の山々を染めるころ、各艦のメイン・マストに国旗がするすると上がり、港にはいつにない活気がみなぎっていた。

正午、英米艦隊が放つ二十一発の祝砲が六甲の山脈にこだまし、兵庫奉行柴田日向守剛中が、神戸村の東部海岸、いまの生田区加納町六丁目の海岸にできた「ビードロの家」と呼ばれる運上所（税関）に

各国大使を招いて、おごかな小式典が始まった。日本の一小港から外国への門をひらく開港。こうして神戸は近代への第一歩を踏み出した。

英国艦隊のシルビア号艦長F・パーマン海軍中尉はこのころ「絵入りロンドン新聞」に送るためせつせとメモをとっていた。

「港の北西にある兵庫は貿易をするのにぴったりの港として選ばれた。隣り合う兵庫、神戸の両港は小、中型船のすばらしい停泊地で、同時に世界最大級の艦隊でさえも安全に停泊できる泊地をもっている」と。（絵入りロンドン新聞三月二十八日付け）京大図書館所蔵

（神戸開港百年・読売新聞神戸支局編より）

網屋吉兵衛（1785—1869）

吉兵衛が十一才のころ、現在の元町四丁目付近で、そのころ二ツ茶屋村と呼ばれていた海岸で毎夜潮の干満をはかりはじめた。それは当時関西でも有数の船着場で、大小さまざまな船が出入りしていたが船底修理の設備がなかったからである。やがて吉兵衛のドック造りの夢は大きくふくらんだ。

東久世通禧（1833—1912）

備前藩兵が兵庫で外国入水兵を切ったといういわゆる「神戸事件」の際、たまたま大阪にいた通禧は外国事務取調掛、勅使として外国代表と会見、新政府宣言を読みあげた。その後兵庫にとどまって兵庫裁判所、県庁の前身でその初代総督に任命された。兵庫開港の基礎を築くのだという自負は伊藤博文や北風正造の助言を受ながらファイットを燃えあがらせた。

勝海舟（1824—1899）

海軍生を養成して、摂津の海の固めが必要であると、神戸に海軍操練所設立を将軍家茂に訴え、成功した。同時に勝塾をいままの生田署西付近に開いて、生田の界わいは勝に教を乞うもので満ちた。長州の桂小五郎と朝鮮問題を論じて意気投合する。

加納宗七（1827—1887）

勤王の志士たちと交友のあった宗七は慶応から明治へ年号が改められたころ神戸で材木商をはじめた。やがて回船業にも成功し、当時ハンランが続いた生田川の改修工事を請負って新生田川のかげ替え工事で名を残した。また小野浜に避難港をつくって港湾にも尽力した。

北風正造（1834—1895）

「身命、資財みな尊皇の御預りもの」が正造の人生訓で倒幕運動に心を燃やしていた正造は私財を投げて勤皇派の軍資金とした。湊川神社の建立、神戸初の普通学校「明観館」の設立など公共事業にも尽力した。現在の明観小学校は明観館の名残りである。

先代 神田兵右衛門（1841—1922）

兵庫区の田家で木材、米などの問屋に養子にきた兵右衛門はその地位からあらゆる事業にたずさわった。そのなかで兵庫港新川運河の建設には特に力を入れ自ら調査に加わった。兵庫商人の才覚がことごとく成功し夜明けの時代にひとつの生き方を示した。

ジョン・マーシャル（1833—1887）

明治四年に英国人マーシャルは横浜から「港長」として兵庫県に呼ばれた。当時の神戸港は天然の良港とはいえ、設備らしきものは皆無で、まず気圧、気温、風向、風力、天候を観測し、潮汐干満の調査をはじめた。築港計画建議を県令に出したりして防波堤の完備も説いた。

ジョン・ジェームス・マールマン（1838—1930）

マーシャルのあとをうけて二代目神戸港長となり、神戸港の基礎固めに従事した。港則法、海兵法、船舶検査法等の制定に尽力し、瀬戸内の航海術、海洋気象に関する日本人の指導にあたった。神戸港の育ての親であり、神戸に最もゆかりの深い外国人であった。

森本六兵衛（1839—1912）

開港すると、輸出入貨物は急激に増し、それまで、野ざらしの貨物は破損や盗難が相次いだ。六兵衛は貨物の保管施設の必要を感じ、当時私有地であった小野浜に倉庫を建て、貸倉業を開いた。明治28年末、神戸港の倉庫のうちの三分の一を占めるに至った。

伊藤博文（1841—1909）

明治二十七年で兵庫県ではじめての知事として、ハイカラ青年そのままに散髪してチヨウネクタイに洋服を着込んで登庁した。洋行帰りの「坊主奉行」と異名をとったが、県政の一方、ミナト神戸の地の利を活用して外国貿易の振興にも熱を入れた。

インダストリアル神戸

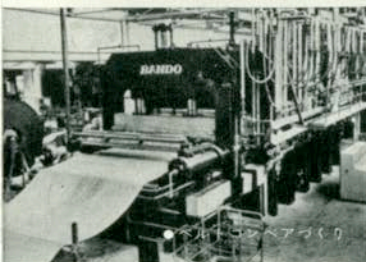
★港は産業を育てる

神戸は港都といわれるように、港とともに開け、港とともに歩んできた。

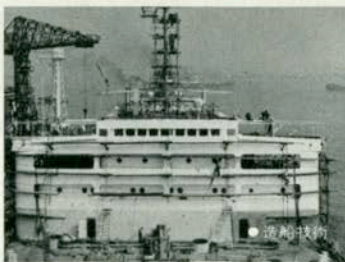
神戸の産業も、港との結びつきを離れては考えられないが、ことに港都としての恵まれた立地条件を生かして、急速に発展した産業の構造は、かなり特色のあるものとなっている。

例えば工業についていえば、神戸港に隣接することによってえられる立地上の優位性に着目して、造船所が建設され、これから派生した車両、電機、航空機、さらにその材料供給のため生れた鉄鉱等の大工場と、その下請中小企業群によって形成された重工業が、今日においても神戸の工業の中心である。その他、精糖、製粉、ゴム、マッチ等、そのいずれもが原料・製品の輸移出入の便により神戸に発展したものである。

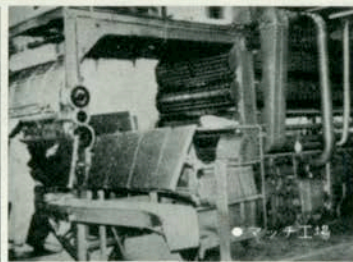
また商業においては、伝統的大商業都市大阪に近接することから大きな制約を受け、卸売業は必ずしも十分な形成はみられないが、港と密着して多くの貿易商社が発展し、小売業においても、洗練された雰囲気で見られる多数の商店街や百貨店等が活発な活動を続けており、注目を集めている。このほか、海運業、倉庫業、港湾運送業などの運輸通信業が、港と結びついて確固たる地位を占めている。へ神戸市経済局商工課編「神戸の経済」より



●ペーパーファクトリー



●造船技術



●車輛工場

●空から眺めた開けゆく神戸港



グロリアス神戸

★港は繁栄をもたらす

神戸市の総合基本計画（マスター・プラン）の原案は、「神戸市民が、緑と太陽と空気に土地と水」にふんだんにめぐまれて、人間らしい生き方のできる都市にしようという考え方にたって三十年先を見越してたてられたプランである。他面このプランの中には、日本の代表的港湾都市、西日本の中核都市としての役割を十分に果たすことのできる都市にするためのプランも盛り込まれている」という。三十年後をめざすところなど、いかにも神戸らしい。

三十年先といわず、近いうちに実現の可能性があるのは、明石海峡の架橋であろう。これは原口現市長の悲願で、世の人はこれを「夢のかけ橋」という。

新しいものを好み、その鑑定人としてのプライドをもつ神戸である。――「夢のかけ橋」づくりは、たしかに神戸が手がけるにふさわしい仕事ではないか。また日本じゅうで、そのような長い橋をかけて最も似合うのは、神戸の町であろう。「このほうが早いで」と得意げに海をひとまたぎした橋のすがたは、神戸のもつ、ややおつちよこちよいであけつびろげの性格と合理性もそっくりかたちにあらわしたものになるはずだ。

何年先になるかわからないが、夢のかけ橋は、きっと神戸の新しい象徴になるであろう。へ陳舜臣「神戸というまち」より。▽



●上はポートアイランドの予想図

●明石架橋の工事予想図



●上は淡路国際空港の予想図

●下は貿易センター完成予想図



インターナショナル神戸

★港から情報が来る

国際港神戸には、神戸特有の性格がある。その例として日本でサナトリウムができたのも、映画興行がおこなわれたのも、神戸が最初の土地である。グルームによってはじめられた六甲のゴルフ場も、日本最初のものであった。須磨の水族館は新しいが、その前身は遠く明治三十年に創設された。日本最初の水族館である。バーマونتも、マツ子製造も神戸からはじまった。神戸で酒樽のかわりに輸入ビールの空ビンに日本酒をつめて売ったのが、ビン詰日本酒の元祖である。

「日本最初」というのは、かならずしもよいものばかりではなかった。開国初期のうちは、当然港町が開化の門となる。ゴルフもベストも、この門をくぐった。が、いつのまにか、開化の門の住人たちは、鎌鼬をもつようになる。なにがよくてなにがわるいか、すぐにとり入れる用意があつただけに、鋭く見抜かねばならない。この気風は、新しい伝統として、神戸の町に吸いとられて現在にいたっている。

新しい町では、おたがいにかたくなるしい、ふるいつき合いはないから他人の思惑など気にしないですむ。大胆に新しいものをとりいれることができたし、奇抜なアイデアをすぐに実施に試すこともできた。新しいものの、かわつたものを愛好するのは、神戸市民の性格となつてしまつた。――陳舜臣著「神戸というまち」より



●明治中期の居留地海岸通



●明治40年頃グルーム氏六甲山ゴルフ場開く



●キャンベラ号の入港<英国>



●進水するタンカー



●港が見える布引ゴルフ場



●外人観光客が神戸を楽しむ

モダンライフ神戸

★明るい街づくりは港づくりとともに

原口神戸市長が、全国ではじめてという市街地改造事業に着手したとき、市民にこういふ新しい所有形態を理解し、なじんでもらうまでにはずいぶん苦労したという。

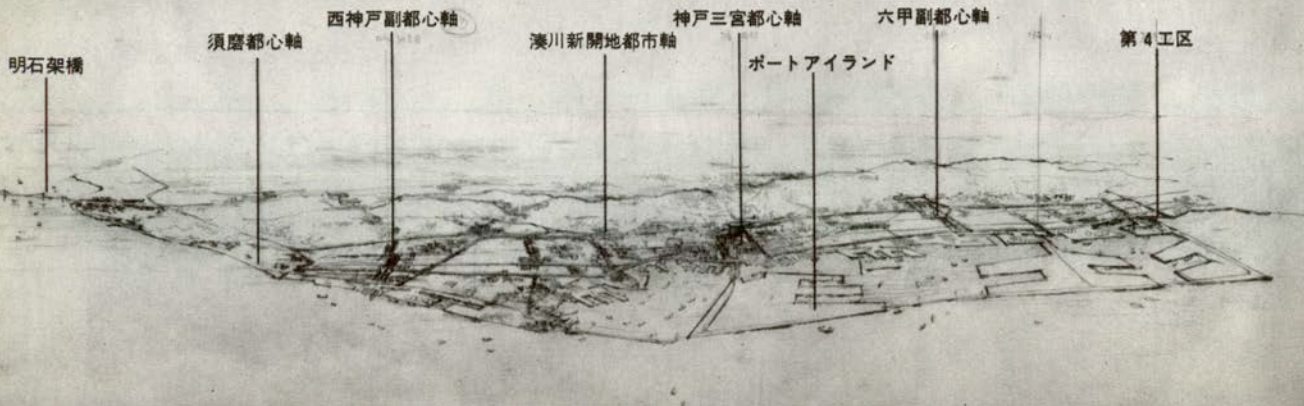
「自分の努力で自分のつばなからだをつくる」いつまでも若く健康であるためには、そういう自ら鍛える努力が必要である。街づくりにしても同様である。街を太陽と緑と空間とを豊かに持った近代的な姿にするには、長年住みなれた街への思い出や愛着、複雑な権利関係の入り組みに執着したりひるむことなく、街の改造を実行する勇氣と決断とがいる。市長はこう訴え説得した。

市民による、市民のための、市民の都市計画、都市再開発がいま強く叫ばれている。都市は人間文化の遺産であり、人は都市以外には住めない。〈原口忠次郎著「技術屋の夢」より〉

神戸の街は港からはじまり、山に近い住宅地へと続く。この間を結ぶ三十年後の都市計画、「総合基本計画」が、マスタープランとして掲げられているが、神戸の都市計画は港を切り離しては考えられない。いいかえれば港づくりに神戸の将来がかかっている。

幸せな市民生活の明るい街づくりは、港づくりとともに市民自身の勇氣と努力によってすすめてゆかなければならないだろう。

- 写真左より摩耶山より神戸港を望む
- 三宮市街地改造予想図
- 白川區画整理計画模型
- 大橋市街地改造地区〈神戸新聞提供〉
- 写真下は神戸市の未来図



rd

ロッテルダム

Port of Seattle

シアトル



O-SHIBATA

柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

英・仏ドーマル社日本代理店
柴田商事KK



ベニヤ

三宮センター街 PHONE 39:5529
サンキューワイフク
 さんちか(レディスタウン) PHONE 39:1204



Beniya 3 mode & CAR

イングリッド・グリーンのロータスエランで5月のドライブは須磨、明石。
 葉のドレスを若々しく着こなしたベニヤのモーターな装いです。《葉は明石の國野氏のロータス・エランです》

Congratulable Three Sister Port

Rotterdam+Seattle+Kobe

★特集★神戸開港百年祭三姉妹港提携メッセージ



神戸っ子に贈る



神戸市長
原口 忠次郎

ロッテルダム、シアトル両港との 姉妹提携によせて

慶応三年、神戸が開港していらい、ここに100年、世界有数の港として、その名を高めたことは、まことに喜ばしいかぎりです。

開港百年を迎えて5月15日には祝賀式典を開き、その前後には、カーニバルをはじめ、懐古行列など多くの催しものがくりひろげられます。

またシアトル、ロッテルダム両港との姉妹提携式もおこなわれ、市民の祭として盛り上げるものと思います。

港と港の提携は全国でもはじめてのもので、姉妹港のねらいはますます活発化、複雑化、近代化されていく港湾業務を総合的につかんでいこうというものです。

そのために「港湾情報センター」をもうけ、港湾の現状輸出入貨物の動き、新施設計画のほか、世界各国の港の動きなども知らせあうことになっています。

神戸市は、みなとを離れて考えることはできない都市です。内外の有力港といろんな面で協力しながら、神戸市の成長発展に全力を注ぎたく思っております。



From Port of Rotterdam



Dr. F. Posthuma

The City and the Port of Rotterdam are delighted with the prospect of entertaining close relationship with the City and Port of Kobe. The Rotterdammers greet the entire population of its sister city and congratulate them with the anniversary of their great port.

In Rotterdam we believe that international trade and commerce can effectively contribute towards international peace and interdependence culminating in a better world to live in for all. To this end Rotterdam has worked hard over the years. Rotterdam is uniquely located at the estuary of two great European rivers, the Rhine and the Meuse. This thirty mile wide estuary has already been called the Golden Delta because of its tremendous growth potential.

Rotterdam sits in the center of a circle of 300 miles in which 160 million people are living. Such a compact market is found nowhere else in the world. From Rotterdam easy transportation is possible by water, rail, road and pipeline—to countries on the European continent and Great Britain. Rotterdam is even being used as a distribution center for countries on other continents.

Rotterdam is now the busiest port in the world, the European continent's largest general cargo port, Europe's most important oil refining, petro-chemical and chemical center. The entrance to Europoort is being readied for tankers of 225,000 tons dwt. Their arrival will result in further development of existing industries and will also attract new ones thereby adding to Rotterdam's predominant role in international trade and traffic. Oceans divide us but on the other hand they also unite us. May our new bonds of friendship be effective in bringing us ever closer together.

Dr. F. Posthuma, General Director
Port of Rotterdam-Europoort.

ロッテルダム市とロッテルダム港は、神戸市と神戸港との親交を受け入れることを喜んでます。ロッテルダムの人たちは、姉妹都市の皆様にあいさつを送りその大きな港の記念祭をお祝します。ロッテルダムの人たちは、すべての人にとって、よりよい世界に達しながら、国際貿易と商業が、世界平和と相互依存に効果的に貢献すると信じています。この目的に向けて、ロッテルダムは、長年、懸命な努力をしてきました。ロッテルダムは、二つの大きなヨーロッパの川、ライン川とマース川の河口に、特異に位置しています。この30マイルの広い河口は、大きな発展の可能性をもっているのです。今までにも「ゴールデン・デルタ」と呼ばれてきました。

ロッテルダムは、1億6千万の人が住んでいる300マイルの円の中心にあります。そんなにもまった市場は、他には世界のどこにもありません。ロッテルダムから、ヨーロッパ大陸の国々やイギリスまで、便利な輸送は水路・鉄道・道路・パイプによって可能です。ロッテルダムは、他の大陸の国々にとっては、分配センターとしても使われています。

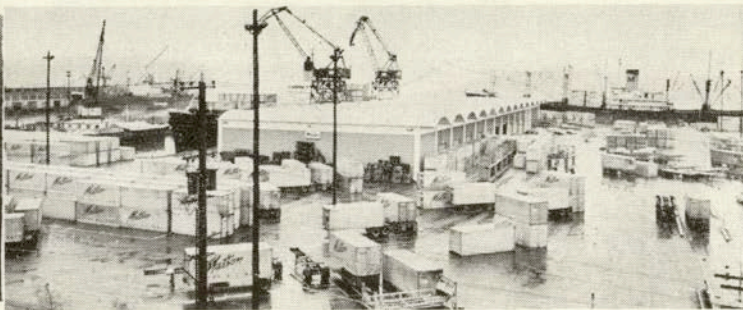
ロッテルダムは、現在、世界で一番にぎやかな港で、ヨーロッパ大陸最大の一般積荷港、ヨーロッパの最重要石油精製、石油化学、化学センターです。ユーロポートへの入口が、225,000トン (dwt) のタンカー用に、現在つくられています。それらができ上がると、現在の産業を一層発展させることでしょう。そしてまた、それによって、国際貿易と交通の面でのロッテルダムの重要な役割に加えて、何か新しいものをひきつけることでしょう。大洋は、私たちを分離しますが、その一方では、また私たちを結びつけます。この新しい友情の絆が、私たちをいっそう親密にすることに効果的でありますように。

(紙面の都合により一部削除しております)

Dr. F. Posthuma ロッテルダム＝ユーロポート港湾管理長



Merle D. Adlum



Gordon S. Clinton

From Port of Seattle

Your Royal Highness, Dr. Haraguchi, distinguished guess, ladies and gentlemen-

My pleasure in being a guest in the beautiful City of Kobe is equaled only by the pride I feel in having the honor of participating in today's momentous event.

With no other city in the world does Seattle have such close ties as with the City - and the citizens - of Kobe.

Today's ceremony, and its conclusion in Seattle three months hence, can only strengthen these ties and assure a growing awareness of our mutual understanding and friendship.

The citizenry and the maritime industry of Seattle join me in expressing our sincere pride in the Kobe-Seattle Sister Port relationship and we extend our promise to do all within our power to assure its continuing benefits to our two great seaports.

**CAPTAIN MERLE D. ADLUM, President
Port of Seattle Commission**

神戸という美しい町に、招かれた私の喜びは、今日の重大な事件に参加しているという名誉を得て感じる誇りとも言わなければならない。

シアトルは、他のどの都市とも、神戸市や神戸市民とは、それほど親密な関係を結んではいません。

今日の祭典と、その3ヵ月後のシアトルでの締結は、この結びつきを、いっそう強め、それと同時に、私たちの相互理解と友情を認識させ、ますます確かなものとするでしょう。

シアトルの市民と海上産業を代表して、私は、神戸ーシアトル姉妹港提携に、私たちの心からの誇りを表わすために参加します。そして、私たちは、この二大海港都市にとって、絶え間ない利益を確保なものとするために、私たちの力の範囲内でできるあらゆることをするように、約束を広げていきたいと思っています。

シアトル港務委員長 Merle D. Adlum

As the Co-Chairman of the Kobe-Seattle port Affiliation Committee, I take distinct pleasure in being here in Kobe once again.

The concept of a sister-city program was nurtured, fostered and implemented between Seattle and Kobe back in 1957 by your Mayor Dr. Haraguchi and Mayor Gordon S. Clinton of Seattle.

Such program has become an example of what two great cities can do in furthering amicable relations between the citizens. That emphasis to this point has been on cultural, educational and social lives; and has been most successful on both sides of the Pacific, having been recognized the world over for its success.

Now in this newly established program, started here in Kobe on May 15, 1967 and brought to final fruition in Seattle in August, 1967.

We appreciate this privilege of joining hands with the great Port of Kobe and look forward to completing this program in August in Seattle.

**GORDON S. CLINTON CO-Chairman
Seattle-Kobe Affiliation Committee**

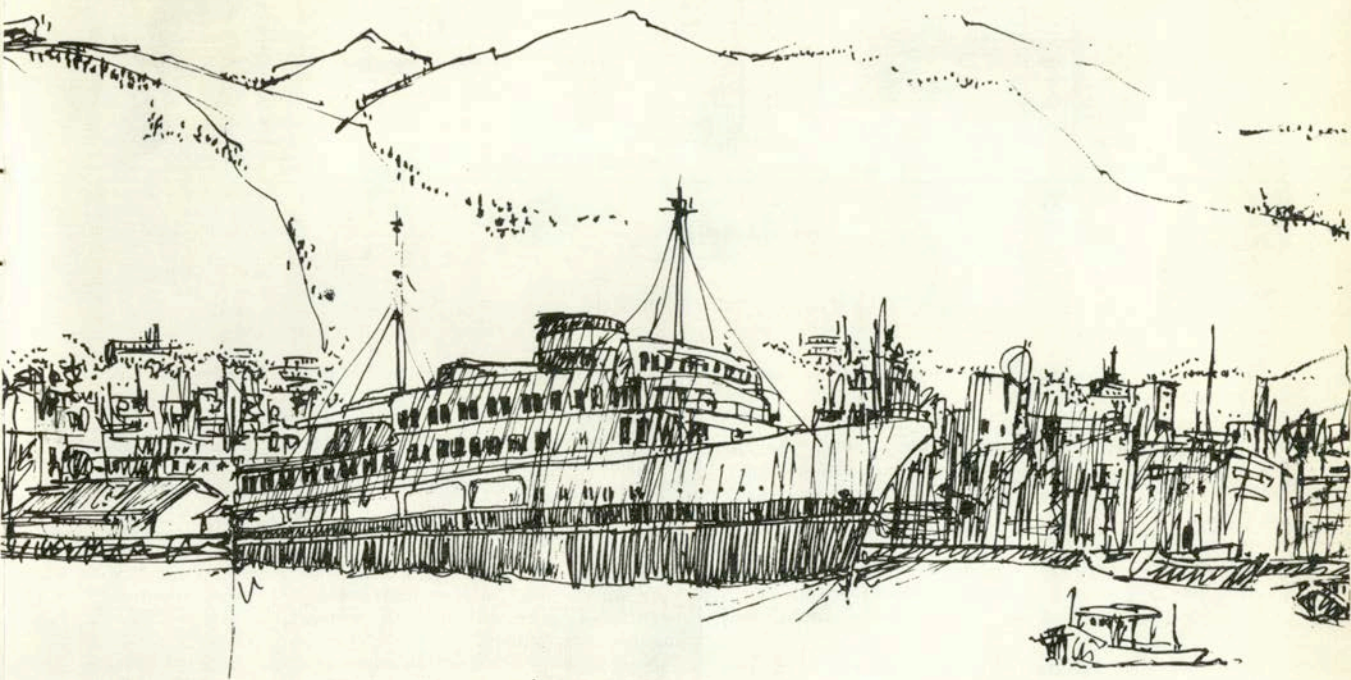
神戸ーシアトル港提携委員会の共同議長として、私は再び、ここ神戸に来ていうということに、非常な喜びを感じています。

姉妹都市計画の考えは、シアトルと神戸との間で、1957年に、原口市長とシアトルの G. S. Clinton 市長によって、育てられ、奨励され、完成されたのです。

そのような計画は、二つの大都市が、両市民間の親交をより深めるのに、何をなし得るかという実例となりました。この時点までは、文化的、教育的、社会生活の面についての強調でしたが、太平洋の両岸において、最も成功し、その成功によって、世界中に認められてきたのです。さて、この新たに確立された計画は、1967年5月15日に、ここ神戸でスタートし、1967年8月にシアトルで、最終的に決定されます。

私たちは、神戸という偉大な港と提携する特権を感謝していますし、シアトルで8月に、この計画が完成するのを、楽しみに待っています。

シアトルー神戸提携委員会共同議長 Gordon S. Clinton



開港一〇〇年を迎えた神戸
六甲の山と瀬戸の海
天然の良港と呼ばれる神戸港
世界につながる日本の港都
として一〇〇年の歴史を誇る
この神戸を拠点として神戸と
ともに躍進する企業群
これらの企業のエネルギーが
未来の神戸 未来の日本
をひらく。

ポート・コウベは
ポート・ロッテルダム
ポート・シアトルと
姉妹港の提携を結び
世界に伸びてゆく
その輝やかしき未来を
ささえるのが
無限の可能性を秘める
この企業群である

日本毛織株式会社

取締役社長 阿部荘吉

阪神相互銀行

取締役社長 志茂源吉

関西貿易株式会社

代表取締役 竹田剛男



神戸開港百年祭



柏井紙業株式会社

取締役社長 柏井健一

正興産業株式会社

取締役社長 秋田博正

ウシオ工業株式会社

取締役社長 牛尾吉朗

石野証券株式会社

取締役社長 石野成明

樽本汽船株式会社

常務取締役 樽本 久

森本倉庫株式会社

取締役社長 森本禎二

坂井化学株式会社

取締役社長 坂井幸蔵

ダリアは 躍進そごうの 店花です

親切・感謝
を表わします



お買物はなんでもそろう お約束を守る親切な店



神戸三ノ宮
そごう

神戸(078)22-4181

感謝いたします 皆さまにそして社会に



大丸は 享保二年に京都伏見で発足
してから 二百五十年を迎えました。
これを機会に 神戸の代表的百貨店
としてさらに一段の充実・サービ
スの向上を期しております。



大丸
神戸店

電話・神戸(078)33-8121(大代)

Congratulable Three Sister Port

Rotterdam+Seattle+Kobe

★神戸開港百年特集★座談会

三姉妹港を語る

ほんの数年前までは、世界の五大港といえば、まず第一にニューヨーク、ハンブルグ、マルセーユ、ロッテルダム、ジェノバだった。ところが現在では、ロッテルダム、ニューヨーク、ジェノバ、マルセーユ、ハンブルグと、貨物の取扱量はその順位を大きく変えた。このように、オランダのロッテルダム港はニューヨークをはるかにしのいで、大変な勢いで繁栄ぶりを見せている。その驚異的な発展を続けるロッテルダムと、私たちは来る五月十五日に、姉妹港になり、それと同時に、アメリカの十大港の一つ、シアトルとも提携を結びます。もちろん、三姉妹港誕生というのは、世界でも初めて。ロッテルダム、シアトルというのは、一体どんな町、どんな港なのだろうか？ 神戸っ子にとっては知りたいことばかり。そこで、今日は、それぞれの町や港に詳しい四人の方にお集まりねがって、楽しくお話をいただきました。



毛 利 治
＜神戸市港湾局技術
部計画課長＞



Mrs. Pastoor
＜在神オランダ人＞



黄 純 哲
＜KLMオランダ航空＞



諸 岡 博 熊
＜神戸市調査室副主幹＞

アメリカ的な町、ロッテルダム

諸岡 PASTOORさんは、ロッテルダムには何年頃？

PASTOOR 一九五七年から八年間いました。ロッテルダムの町は、オランダにありながらオランダらしくない、むしろアメリカ的な町なのです。

黄 一九四〇年、ナチの攻撃を受け、戦後新しい町づくりをやり現在のような超近代的な町となったのです。アムステルダムやヘイグなどとは全然ちがいますね。

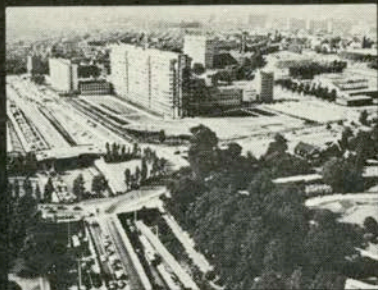
諸岡 ロッテルダムには、有名なショッピング街があって、何といったかな、たしかヒルトンホテルの近くです。都市計画の時には必ず紹介される代表的なものです。

PASTOOR ああ、レインパイン。ショッピング、センターですね。

諸岡 そう、それがうまくできていて、人と車は完全に分離してしまつて、人だけを通すようになって



有名なショッピング街レインパーンの入口



ユーロマストより北方を望む



ロッテルダム港の一角 中央後方はマース橋

ています。港町であれだけアカ抜けた、元町通りをもっと広くしたような……。オランダ人は、こういう都市計画がうまいですよ。国土が狭いから、いかに効率的に使うかということですね。

黄 人口密度は世界一ですね。しかし、あまり人が多いと感じませんね。全部、原野で山がない。

PASTOOR 春には、いろいろな種類の水仙、チューリップ、ヒヤシンスが色とりどりに咲いて、まるで花のカーペットのようです。オランダのチューリップは、とても大きく、たくましいです。日本のチューリップはとても小さい(笑)。

毛利 郊外に行くと、小さな家がたくさんあって、赤とか黄とかグリーンとかベンキを塗らたくって印象的ですね。

諸岡 もう一つ町で特色があるのは、自転車が多いことです。PASTOOR 誰でも、おばあさんでも、こんな小さな子供でも乗ります。まるで自転車の洪水(笑) みたいですね。

世界の驚異、ロッテルダム港

諸岡 ロッテルダム港は、ライン河の河口にあって、西ヨーロッパの中心港であるのが特色ですね。毛利 普通の港とちがってEECの港なんです。フリーポート(自

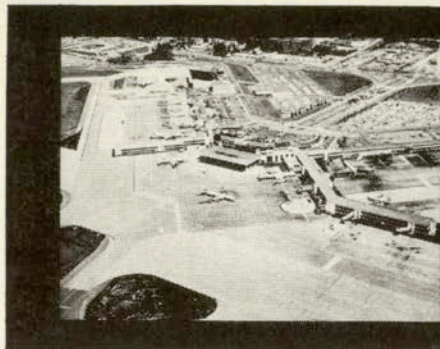
由港)でもあるわけです。世界最大というのは、ライン川に沿ってドイツ、スイスまで運びますから諸岡 ロッテルダムは、海岸線、ラインとマース川の下流を埋め立てて、近代的なユーロポート(欧州港)にしてしまった。

PASTOOR ロッテルダムはアムステルダムと変らないほど古い港です。ロッテルダム、ポートレック、ユーロポートと三つあって、それを普通、ロッテルダム・ユーロポートといっています。距離が神戸と大阪より、もっと遠く車でまわるだけで一日かかります。

諸岡 ヨーロッパは、全て川港なんです。ユーロポートが初めて海港なのです。ユーロポートに、石油精製工場がズラッと並んでいてすごいですね。イタリアのゼノアがEECの裏玄関とすると、ユーロポートはEECの表玄関です。

黄 それから神戸のポートタワーは、ユーロマストに似てますね。PASTOOR でもロッテルダムのユーロマストの方がずっと効率的で観光用と同時に天然の排水孔をもかかえています。

毛利 ロッテルダムは、今コンテナを建設中ですから、バージュのほかコンテナ輸送が可能になります。鉄道とコンテナとバージュの三つがドイツ、スイスまでいきます。諸岡 これがすごいですね。



シアトル・タコマインターナショナル・エアポート



シールズ・ベイ・マリーナ



干拓のすむシアトル港

毛利 シアトルの方は、コンテナは、ずっと前からやっていたので。というのは、アラスカとの輸送は、コンテナを使っていた。今度、ハワイまでのをやっています。こういう形になった方が、伸び広がりますからね。

諸岡 しかし、シアトルには、ヒンターランドがない。いろいろとシカゴまであるとかいわれますけど、その必要はないわけです。取扱量は大きしたことない。一九六五年には、二四八万七千トンとか。

毛利 ロッテルダムはそれの六十倍で二千万トンです。神戸は世界一に大きい港と規模は小さいけれど、アメリカでは十大港の一つのシアトル港と提携するわけです。

毛利 神戸は六千五百万トン。ロッテルダムは三分の一です。神戸も世界的な港だということですよ。

諸岡 結局、ロッテルダムが急速に発展したのは、E.C.とかライン河利用とかヒンターランド（背後地）があるとかいうことですね。西ヨーロッパの人口の40%がラインランドに住んでいるということです。ロッテルダムを中心に半径五百キロの円を描いたら、一億六千万の人口が入ります。ニューヨークを中心にとすると、三千五百万、神戸を中心にとすると七千五百万です。神戸はニューヨークよりヒ

ンターランドが大きいわけですよ。その代り東京まで入ってしまいうすけど（笑）。産業人口がそれだけ集中しているところといえば、ロッテルダムとラインランド、ニューヨークと五大湖地方、神戸港を中心とした瀬戸内海地方くらいではないですか。あとはもう、それだけ産業人口の集中したところはありませんよ。結局、港がよくなるのは、その港を支えている背後地と港を結ぶ交通体系ですね。

独特なシステムをもつシアトル港

—— ロッテルダムについてはこの辺にして、シアトルの話——

毛利 僕が行ったのは一九六四年です。半島が突き出て、すごい入江になっています。波が全然なくフィヨルドみたいです。ここには淡水港と海水港とがあって、唯一の財産になっています。このシアトルという町の名は酋長の名前からとったもので、ミスター・シアトルの胸像がバイオニア・スクエアにあります。人口が八十万。面積は神戸の八割ぐらい。

諸岡 その特長は、十車線のフリーウェイとかマーストンネル、フィード・カナル浮橋などです。

毛利 そのワシントンのフロートイング・ブリッジは、六、五〇〇フィートつまり二キロ弱ですネ。

諸岡 おもしろいです。橋が

浮いていて、これがバージでつながっていて、船が通ると、真シ中で分かれるんです。ちよつと例がないでしょ。

毛利 シアトルとロッテルダムを比べた時、何かシアトルの方が、しつとりと落ち着いた感じですね。ロッテルダムの方が、アメリカに近いような町で、シアトルの方がアメリカでないような……。

諸岡 ちよつと活気がないわけですよ。シアトルは神戸の6分の一ぐらいの規模です。ボーイングを造る航空会社の方が大きいですね**毛利** シアトルの港湾管理者は、

交通機関を全部もつわけです。空も陸も海も。港の規模は小さいけれど、システムからいくと、日本よりはるかに偉れていますね。アメリカでは港によって管理システムがちがう。シアトルは独立の委員会組織です。だから、今まで神戸とシアトル市とは姉妹提携していたけれど、港とはしていなかったわけです。ポートオブシアトルというのは、選挙による五人のコミッショナー組織です。市長や市政とは全然関係なく、ポート・ディストリクトの中の住民の港だということです。

ピーブル・ツウ・ピーブルで親善のかけ橋を、

——今度、5月15日にシスター・ポートの提携をするわけですが……**PASTOR** 仲よくするとい

うことは、とてもいいことだと思います。むつかしいことは分りませんけど、シスターというのは、同一家族だから、同じ名前をもっています。そういうように、何か三つの市に共通のものを決めたらいいと思います。例えば、花とか風車とか……。

黄 例えば神戸から向うに行っても、シスターシティだという理解があれば、何となく親しみを感じちやうですね。

毛利 結局、姉妹提携というのは**ピーブル・ツウ・ピーブル**（人対人）ということになりますね。港湾方面からいうと、ロッテルダムから学ぶことが多くあります。港湾技術、管理、運営ですね。一応ロッテルダムを理想にしています。シアトルから学ぶところは、施設面より、システムの方が多いですね。情報交換とか……。

諸岡 神戸港は日本一の港、ロッテルダム港は世界一、それが手を結ぶということは、次は、神戸港を世界一にするために弟子入りするということですね（笑）。しかし、それだけじゃ、わざわざ提携する意味がない。神戸っ子の市民感情としては、それ以上のものを何か……。ここでこうしてじつと話を聞いているだけではつまらない。やはり、**ピーブル・ツウ・ピーブル**で、人間の交流を通して、相互理解を深めていくことが、大切だと思えますね。

ロッテルダムの象徴

赤根和生

ロッテルダムの町のにぎわいのなかに身をおくと、いつもどんよりと頭へのしかかってくる北欧の空があまり気にならなくらい明かるい気分になる。古色蒼然とした阿姆斯特ダムとは対照的な新鮮な活気が身を包んでしまうからである。はるかに望むしやれたデザインの白亜の塔「ユーロマス」は西欧随一の港をひかえた、この商都の、そんなフレッシュなエネルギーの象徴だ。ロッテルダムというともうひとつ思い出すのは港に近い広場に、天に向って

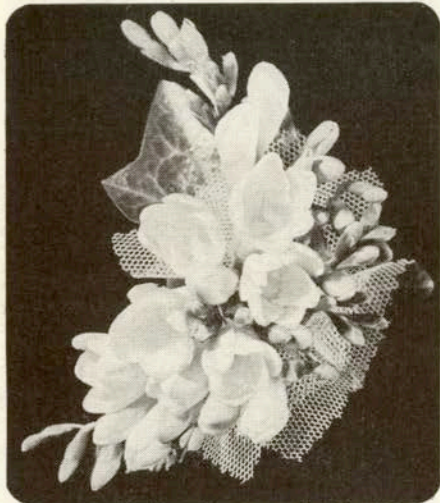


「心臓をえぐられた男」

絶叫するザッパン作の「心臓をえぐられた男」の彫像だ。一九四〇年のナチの大爆撃はこの町を灰燼に帰してしまつたが、その記念に建てられたこの彫像に誓ひ、励まされてこの町は見事に復興し、今日この像のまわりには、超現代的なビルが立ち並び、焼残りの古い教会堂に並んで斬新なデザイン、この鐘楼が聳える商都の活気と芸術の香気と、古いものと新しいものを対立せずに、混然と融和させているのがロッテルダムだ。そして焼跡にいち早くます非実用的な彫像を建てるといふような姿勢をわたしは貴重なものだと思う。〈美術評論家〉

新しい時代のおしゃれは 生の花で！

最近生の花のコサージュを飾ることが流行しています。パーティ、結婚式、リサイタルなどにブーケをプレゼントする楽しさはみんなフラワーデザインによるもの。
六甲フラワーデザインルームのなごやかなムードの中で美しい花々をデザインする楽しさをぜひ味わっていただきたいものです。



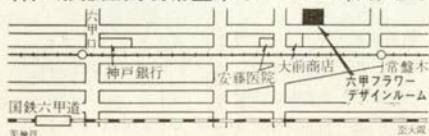
<日 時> 月曜日 火曜日(週一回 月四回)
<入会金> 500円
<月 謝> 1,000円

花の材料費はその都度いただきます

六甲フラワーデザインルーム

香月純子

神戸市灘区高羽常盤木 6 TEL (84) 2103



神戸っ子のセンスを生かす
*服飾 **KEI** の店

生田区三宮町三丁目五七
大井前服部宝生眼鏡店二階
TEL 三三・七五五〇

Sugiya

＊ランジェリー
＊ブラウス
＊セーター
＊ガウン



Sugiya

TEL <33> 3436
トア・ロード市電大丸電停前



初夏の神戸に
カラフルな
クロスの靴

★★★★★
靴と舶来雑貨
★★★★★

クロス

舶来雑貨 神戸トア・ロード TEL 330998

婦人靴 三宮地下街(さんちカレディスタウン)

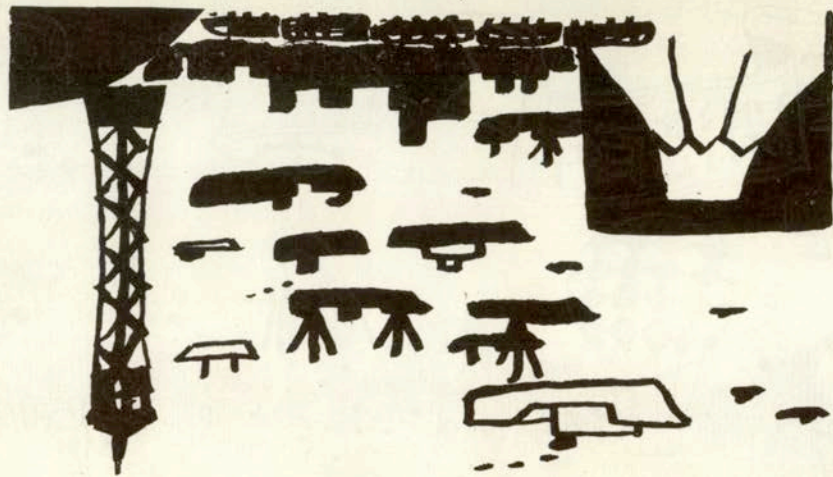
大阪阪神百貨店 TEL 361-1201

京都丸物百貨店 TEL 961111

つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸

つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸

つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸



開港百年を迎えた神戸
昔はよかったらしい神戸
都会のようで都会でない神戸
段々つまらなくなつた「港まつり」のある神戸
ミス何々といわれる美人が意外に美人でない神戸
日本人を相手にしない場所のある神戸
夜の九時をすぎると可愛子ちゃんがいなくなる神戸
おじょうさんおじょうさんしたおじょうさんが多い神戸
女同志のアベックが多い神戸
すつきりした男が少ない神戸
子供や学生がやたらうろちよろしている神戸
買物が目的で美人が集まってくる神戸
靴屋がやたら目につく神戸
各国の料理が食べられる神戸
値段のわりに肉が小さくなつた神戸
バーに美人が少ない神戸
スタンドバーが多くちよつびり安い神戸
しゃれた町だといわれるわりにしゃれた所のない神戸
風呂屋で見るような富士山の大きな壁画のある神戸
グッドデザインとは思えぬタワーのある神戸
芸術の理解者が多い？ 神戸
画廊らしい画廊のない神戸
今頃美術館がどうのこうのといっている神戸
文化人？が多い神戸
いろいろな意味でやっぱりせまい神戸
広告でもっている月刊「神戸っ子」がある神戸
こんなこと書くときらわれる神戸

つまらぬ神戸・つまらぬ神戸・男の気持／ ④ つまらぬ神戸 / 向井修二<画家>・つまらぬ神戸・つまらぬ神戸